

なぜ分別をしないとイケないの??

①ごみを埋め立てる場所がなくなってしまうから!

いまのごみの埋立処分場は東京23区が使用できる最後の場所です。この埋立地はあと50年ほどでいっぱいになってしまいます。少しでも長くこの処分場を使うため、ごみと資源を正しく分別し、埋め立て処分場に運ばれるごみを減らさないといけません。

②環境のため!

私たちが日常使っているもののほとんどが、限りある資源(化石燃料や動植物、鉱物)を使用して作られています。分別等の3Rを徹底し、限りある資源を大事に使いましょう。

3Rとは??

- **Reduce(リデュース): ごみになるものを減らす**
無駄なものを買わない。・ご飯をのこさず食べる。・使い捨て製品は使わない。
- **Reuse(リユース): ものを大事に繰り返し使う**
詰め替え商品を使う。・リサイクルショップを利用する。
- **Recycle(リサイクル): 再生させるために分別する**
資源として正しく分別する。・再生品を使う。豊島区では、たくさんの資源がごみとして捨てられています。分別を徹底することで、資源を増やしごみを減らしましょう。



※「リサイクルできるので、たくさん買って(使って)もいい」というわけではありません。リサイクルにもたくさんのエネルギーや費用がかかります。リサイクルは最後の手段です。ごみを出さないよう、むだのない、ものを大切に生活することを心がけましょう。

*燃やすごみには・・・

- 紙・布類 19.5%
- ペットボトル等 4.6%
- びん・缶 0.3%

計 24.4% (年間で12,606t) も資源が含まれています!



*金属・陶器・ガラスごみには・・・

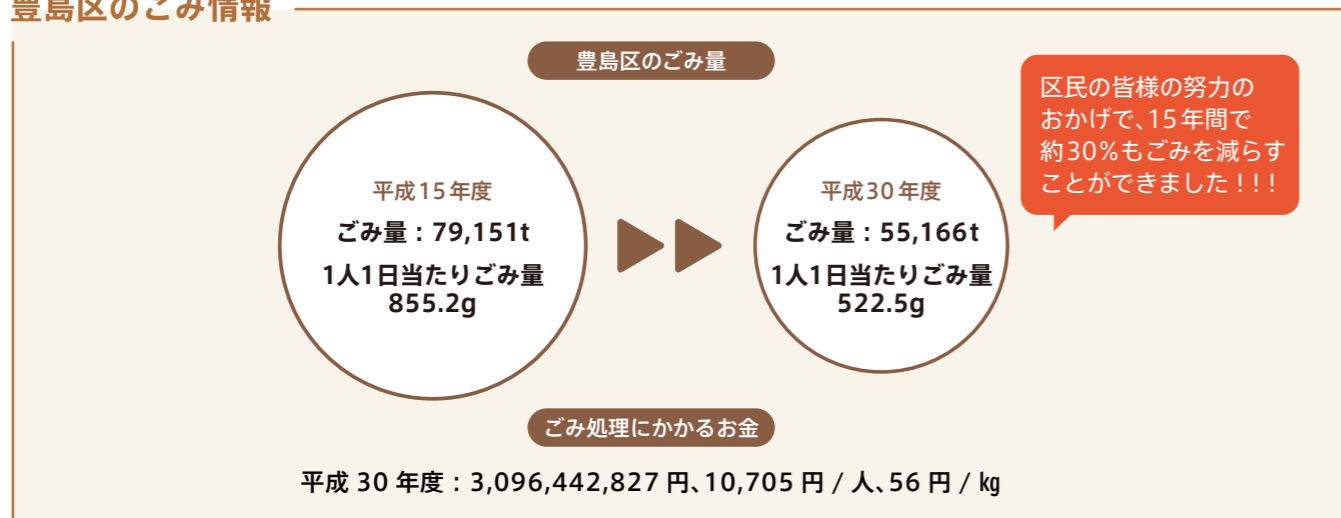
- 紙・布類 0.2%
- ペットボトル等 0.7%
- びん・缶 9.8%

計 10.7% (年間で185t) も資源が含まれています!



(令和元年廃棄物排出実態調査より)

豊島区のごみ情報



正しい分別にご協力ください!!

ごみを出す時の約束 5ヶ条

1 金属・陶器・ガラスごみや布団などの粗大ごみは、絶対に燃やすごみに出さないでください。

豊島清掃工場は「燃やすごみ」の工場です。金属・陶器・ガラスごみや、粗大ごみを燃やすごみの日に出してしまうと、清掃工場は故障してしまいます。令和元年度には、燃やすごみの中に金属・陶器・ガラスごみが310tも含まれていました。



焼却炉から出てきた不燃物



焼却炉内部に絡まった不燃物



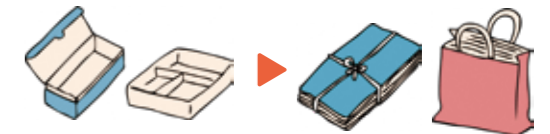
2 生ごみは、水切りを十分に行ってください。

生ごみの約8割が水分です。水切りするだけで、家庭ごみを減量できます。



3 雑がみは、可燃ごみではなく「資源」の日に出してください。

豊島区では、包装紙と厚紙製の箱は「資源」として回収しています。燃やすごみの日ではなく、資源(紙・布類)の日に出してください。包装紙や厚紙製の箱は、十字に縛るか紙袋に入れて出してください。



4 トレー・プラスチック容器は、水洗いして「資源」の日に出してください。

豊島区では、以下のプラスチック容器とトレーは「資源」として回収しています。燃やすごみの日ではなく、資源(びん・かん・ペットボトル類)の日に出してください。
・プラスチック容器(シャンプー・リンス・ソース・ドレッシング・化粧品・洗剤・食用油)
・トレー(食品用の発泡スチロール製の皿)



5 食品ロスを削減しましょう。

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまった食品のことです。食品ロスを削減することでごみの量を減らすことができます。食品ロスについてはP32に詳しく掲載していますので、そちらをご覧ください。